

2.本研究における観光列車の定義

「観光列車」の定義に関しては、日本民鉄協会の説明が良くまとまっているので、本研究誌においてもそれに従う。

「観光列車」とは一般に、『旅行をするための移動手段として鉄道を利用するのではなく、鉄道に乗ること自体が旅行の目的となるような、通常の列車とは異なる魅力的な外観や内装をもつ列車のこと』（鉄道総合技術研究所「鉄道技術用語辞典」）、『内外装を凝らし、味覚を楽しみながら旅行ができるなど、乗ること自体を目的にした列車』（JTB総合研究所「観光データベース用語集」）などと説明されています。

(日本民営鉄道協会 HP より引用)

<https://www.mintetsu.or.jp/knowledge/term/16351.html>

(院3年 中島)

3

研究

1.調査対象の選定

本研究誌では、前に定義された観光列車のうち、東京近郊で調査可能なもの及び2023年度夏旅行等で各部員が乗車したのに関して研究する。そこで、①ラ・マル・ド・ボァ(JR西日本)、②DL やまぐち号(JR西日本)、③SLパレオエクスプレス(秩父鉄道)、④VSE50000形(小田急電鉄)、⑤北九州レトロライン(北九州市)、⑥特急踊り子号(JR東日本)、⑦サフィール踊り子号(JR東日本)を調査した。この選定は観光列車といえども多様であることを踏まえ、様々な列車をバランスよく選出した結果である。観光列車の分類は、観光性と移動手段性それぞれの大きさを考慮すると、第一に、専ら観光地に向かうことを目的としつつ、乗車体験をも考慮したタイプ(⑥が該当)、第二に、主に観光地への輸送がその目的であるが、乗車体験が主軸におかれているタイプ(④、⑦が該当)、第三に特殊の設備を備え乗車自体が主要な目的となるタイプの(①、②、③、⑤が該当)の3通りがあるといえるところ、本研究誌ではそのすべてをカバーした。また、本年度は韓国からの留学生の方が研究に参加していただいているため、国外における観光列車の一例として⑨DMZ観光列車についても言及する。(なお、海外の列車であるため、第4章以降で考察が加えられなかった点に関してはご容赦いただきたい。)

(2年 佐野)